

2025年度（令和7年度）



東北大学

学 生 便 覧

東 北 大 学 工 学 部

2. 電気情報物理工学科

(Department of Electrical, Information and Physics Engineering)

電気工学コース
(Electrical Engineering)

通信工学コース
(Communications Engineering)

電子工学コース
(Electronic Engineering)

応用物理学コース
(Applied Physics)

情報工学コース
(Computer Science)

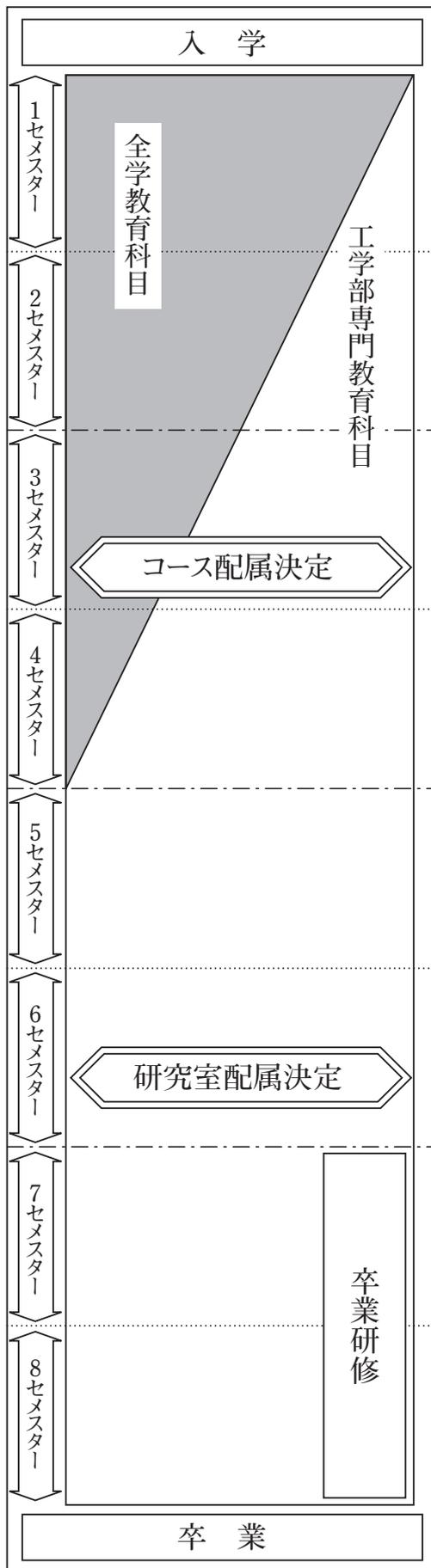
バイオ・医工学コース
(Biomedical Engineering)

授業科目表及び履修方法等

- 全学教育科目
- 専門教育科目

専門教育科目授業要旨

電気情報物理工学科 卒業までの履修過程



【卒業要件科目について】

全学教育科目：57～60, 65～67ページを参照。

工学部専門教育科目：61～67ページを参照。

【セメスターバリア】

- 3セメスター専門教育科目を履修できる条件
- 研究室配属のための履修条件
- 卒業研修を履修できる条件

の3つのバリアーが設けられている。(詳細は66～67ページを参照)

【コース配属決定】

第3セメスター7月下旬までに、希望調査結果などに基づき、電気工学コース、通信工学コース、電子工学コース、応用物理学コース、情報工学コース、バイオ・医工学コースへの配置を決定する。

各コースには推奨カリキュラムが設定されている。

他コースにしかない講義科目も自由に受講できるが、単位として認定できるかどうかは61～64ページを参照すること。

【研究室配属決定】

第6セメスター12月下旬までに希望及び研究室ごとの評価指標で算出された成績評点に基づき、研究室配属を決定する。研究室では卒業研修などを行う。

授業科目及び履修方法等（電気情報理工学科）

(1) 全学教育科目 授業科目表

類	群	授業科目名	主要 授業科目	開講 セメスター	総授業 時間数	単位数	履修方法			
							クロス情報プログラ ムを履修しない場合	クロス情報プログラ ムを履修する場合		
基 盤 科 目	学問論	学問論	○	1	30	2	必修	必修		
		学問論演習	○	2	30	1	選択1	選択1		
		展開学問論	○	5～	15-30	1	選択2	選択2'		
	人文学	論理学	○	1～4	30	2	選択3	選択3		
		哲学	○	1～4	30	2				
		倫理学	○	1～4	30	2				
		文学	○	1～4	30	2				
		宗教学	○	1～4	30	2				
		芸術	○	1～4	30	2				
		教育学	○	1～4	30	2				
		歴史学	○	1～4	30	2				
		言語学・日本語科学	○	1～4	30	2				
		心理学	○	1～4	30	2				
		文化人類学	○	1～4	30	2				
	社会学	○	1～4	30	2					
	社会科学	経済と社会	○	1～4	30	2	選択3	選択3		
		日本国憲法	○	1～4	30	2				
		法学	○	1～4	30	2				
		政治学	○	1～4	30	2				
		情報社会の政治・経済	○	3～	30	2				
		法・政治と社会	○	3～	30	2				
	学際科目	社会	インクルージョン社会	○	2～	30	2	選択3	選択3	
		エネルギー	エネルギーや資源と持続可能性	○	2～	30	2			
		生命	生命と自然	○	2～	30	2			
		環境	自然と環境	○	2～	30	2			
		情報	情報と人間・社会	○	2～	30	2			
			東北アジア地域研究入門	○	2～	30	2			
融合型理科実験		自然科学総合実験（※1）	○	1	60	2	必修			必修
保健体育 (実技)		スポーツA	○	3	30	1	選択1			選択1
		保健体育 (講義)	体と健康	○	2	30				
		身体の文化と科学	○	2	30	2				
先 進 科 目	現代素養 科目	情報教育	情報とデータの基礎	○	1	30	2	必修	必修	
			データ科学・AI概論	○	2	30	2	選択2	選択（情報）	
			機械学習アルゴリズム概論	○	2or4	30	2		必修	
			実践的機械学習I	○	1or3	30	2			
			実践的機械学習II	○	2or4	30	2			
			情報教育特別講義（AIをめぐる人間と社会の過去・現在・未来）	○	2or4	30	2			
			情報教育特別講義（AI・データ科学研究の現場）	○	1or3	30	2		選択（情報）	
			情報教育特別講義（実践的量子ソリューション創出論）	○	1or3	30	2			
			情報教育特別講義（統計数理モデリング）	○	2or4	30	2			自由聴講科目

類	群	授業科目名	主要 授業科目	開講 セメスター	総授業 時間数	単位数	履修方法		
							クロス情報プログラムを履修しない場合	クロス情報プログラムを履修する場合	
先進 科目	現代素養 科目	国際教育	国際事情	○	1～	30	2	選択2	選択2'
			国際教養 PBL	○	1～	30	2		
			国際教養特定課題	○	1～	30	2		
			文化理解	○	1～	30	2		
			文化と社会の探求	○	1～	30	2		
			多文化間コミュニケーション	○	1～	30	2		
			多文化 PBL	○	1～	30	2		
			多文化特定課題	○	1～	30	2		
			グローバル学習	○	1～	30	2		
			キャリア関連学習	○	1～	30	2		
			グローバル PBL	○	1～	30	2		
			グローバル特定課題	○	1～	30	2		
			海外長期研修	○	1～	30～180	1～6		
			海外短期研修（基礎 A）		1～	45	1		
			海外短期研修（基礎 B）		1～	90	2		
			海外短期研修（展開 A）		1～	45	1		
			海外短期研修（展開 B）		1～	90	2		
			海外短期研修（発展 A）		1～	45	1		
			海外短期研修（発展 B）		1～	90	2		
	キャリア 教育	アントレプレナー入門塾	○	1	30	2	選択2	選択2'	
		未来デザイン思考ワークショップ	○	1	30	2			
		ライフ・キャリアデザイン A	○	1	30	2			
		ライフ・キャリアデザイン B	○	2	30	2			
		ライフ・キャリアデザイン C	○	3	30	2			
		ライフ・キャリアデザイン D	○	3	30	2			
		キャリア実習準備講座		1	15	1			
		キャリア実習 A		2	15	1			
		キャリア実習 B		2	30	2			
		汎用的技能ワークショップ	○	2	30	2			
		キャリア教育特別講義（河北新報・東北を拓く新聞論）		2	30	2			選択2
	キャリア教育特別講義（読売新聞・ジャーナリズムと社会）		2	30	2				
	キャリア教育特別講義（専門職キャリアのための口腔保健学総論）	○	2	30	2				
	キャリア教育特別講義（デジタルアントレプレナーシップ研修）	○	2	30	2				
地球規模 課題	持続可能性と社会共創	○	5～	30	2	選択2	選択2'		
	SDGs にみるグローバルガバナンスと持続可能な開発	○	5～	30	2				
	持続可能な社会のレジリエントデザイン	○	5～	30	2				
	持続可能な発展と社会	○	5～	30	2				
	持続可能な社会実現に向けたシステム設計	○	5～	30	2				
	ジェンダー共創社会	○	5～	30	2				
先端学術 科目	カレント・トピックス科目	カレント・トピックス科目★（※2）	○	1～	7.5～60	0.5～2	選択2	選択2'	
	フロンティア 科目	フロンティア科目★（※2）	○	1～	30	2			

類	群		授業科目名	主要 授業科目	開講 セメスター	総授業 時間数	単位数	履修方法	
								クロス情報プログラ ムを履修しない場合	クロス情報プログラ ムを履修する場合
言語科目	外国語	英語	英語Ⅰ-A	○	1	30	1	必修	必修
			英語Ⅰ-B	○	1	30	1		
			英語Ⅱ-A	○	2	30	1		
			英語Ⅱ-B	○	2	30	1		
			英語Ⅲ	○	3	30	1		
			英語Ⅲ (e-learning)	○	3	30	1		
	初修語	基礎初修語Ⅰ	基礎ドイツ語Ⅰ	○	1	60	2	選択必修	選択必修
			基礎フランス語Ⅰ	○	1	60	2		
			基礎ロシア語Ⅰ	○	1	60	2		
			基礎スペイン語Ⅰ	○	1	60	2		
			基礎中国語Ⅰ	○	1	60	2		
			基礎朝鮮語Ⅰ	○	1	60	2		
		基礎初修語Ⅱ	基礎ドイツ語Ⅱ	○	2	60	2		
			基礎フランス語Ⅱ	○	2	60	2		
			基礎ロシア語Ⅱ	○	2	60	2		
			基礎スペイン語Ⅱ	○	2	60	2		
			基礎中国語Ⅱ	○	2	60	2		
基礎朝鮮語Ⅱ	○	2	60	2					
日本語	日本語	日本語A～J	○	1・2	30	1	外国人留学生 のための科目	外国人留学生 のための科目	
学術基礎科目	基礎人文科学		(学都仙台ネットに開放の 専門教育科目を中心に編成)	○		30	2	選択3	選択3
	基礎社会科学		(学都仙台ネットに開放の 専門教育科目を中心に編成)	○		30	2	選択3	選択3
	基礎数学		線形代数学A	○	1	30	2	必修	必修
			線形代数学B	○	2	30	2	必修	必修
			解析学A	○	1	30	2	必修	必修
			解析学B	○	2	30	2	必修	必修
			常微分方程式論	○	3	30	2	必修	必修
			複素関数論			30	2	自由聴講科目	自由聴講科目
			数理統計学	○	3	30	2	必修	必修
	基礎物理学		物理学A	○	1	30	2	必修	必修
			物理学B	○	2	30	2	必修	必修
			物理学C	○	3	30	2	選択4	選択4
			基礎物理数学			30	2	自由聴講科目	自由聴講科目
	基礎化学		化学A	○	1	30	2	必修	必修
			化学B	○	2	30	2	選択4	選択4
			化学C	○	3	30	2	選択4	選択4
	基礎生物学		生命科学A	○	1	30	2	選択4	選択4
			生命科学B			30	2	自由聴講科目	自由聴講科目
			生命科学C			30	2	自由聴講科目	自由聴講科目
	基礎宇宙地球科学		地球システム科学			30	2	自由聴講科目	自由聴講科目
地球物質科学			○	1	30	2	選択4	選択4	
地理学					30	2	自由聴講科目	自由聴講科目	
天文学				4	30	2	自由聴講科目	自由聴講科目	
地球惑星物理学			○	3	30	2	選択4	選択4	

★ 高年次教養教育を開講する科目分野（川内北以外のキャンパス開講，遠隔授業を含む）

備考1：上記掲載の全学教育科目は，卒業要件を満たすために必要な授業科目を抜粋して掲載しています。上記掲載以外の全学教育科目は，「自由聴講科目」として修得することができる場合があります。

備考2：科目によりセメスター制かクォーター制かが異なります。当該年度の時間割を確認してください。

※1 「自然科学総合実験」は，指定（自組開講）するクラスにて履修をしてください。

<参考>

C5TB 電気情報物理工学科（工6～10組）は，第1セメスターに自組開講となります。

※2 先端学術科目群の「カレントトピックス科目」，「フロンティア科目」の開設する授業科目は毎年定めます。全学教育科目の手引を参照してください。

(2) 専門教育科目 授業科目表

開講学科	授業科目	開講セメスター	総授業時間数	単位数	コース						履修方法 (左記コース欄) ☆印：学科必修科目 ◎印：コース必修科目 ○印：選択必修 空欄：選択科目 ／印：コース対象外 (自由聴講科目)
					電気工学	通信工学	電子工学	応用物理学	情報工学	バイオ・医工学	
電	電気情報物理工学序説	1	15	1							選択必修 ◎科目から20単位以上を修得すること クロス情報プログラムの学生は、6コースのいずれかに所属し、情報数学、オートマトン・言語理論、デジタルコンピューティング、アルゴリズムとデータ構造、情報通信理論、人工知能、データ科学と機械学習の数理から4単位以上を修得すること
工	数学物理学演習 I	1	30	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
工	工学化学概論	1	30	2							
工	ロジカル・スピーキング	1	30	1							
工	情報処理演習	2	30	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
工	数学物理学演習Ⅱ	2	30	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
工	創造工学研修	2	30	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
電	電磁気学基礎論	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	電気回路学基礎論	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
工	計算機学	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	応用数学 A	3	30	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	電磁気学基礎演習	3	30	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	電気回路学基礎演習	3	30	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	プログラミング演習 A	3	60	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
工	ロジカル・ライティング	3	30	1							
電	電磁気学 I	4	30	2	必	必	必	必		必	
電	電気回路学 I	4	30	2	必	必	必	◎	◎	必	
電	電気計測学	4	30	2	必	◎	◎			◎	
電	応用数学 B	4	30	2	◎	必	◎	必	◎	◎	
工	情報通信理論	4	30	2	◎	必			◎		
電	量子力学 A	4	30	2	◎		必	必		◎	
電	熱学・統計力学 A	4	30	2	◎	◎	必				
電	電子物性 A	4	30	2	◎		必			◎	
電	解析力学	4	30	2	◎			必			
工	情報数学	4	30	2		◎			必		
工	オートマトン・言語理論	4	30	2					必		
工	デジタルコンピューティング	4	30	2		◎	◎		必	◎	
工	アルゴリズムとデータ構造	4	30	2	◎	◎	◎		必	◎	
電	熱力学	4	30	2				必			
電	電磁気学 I 演習	4	30	1	必	必	必	◎		必	
電	電気回路学 I 演習	4	30	1	必	必	必			必	
電	物理数学演習	4	30	1				◎			
電	通信工学概論	4	30	2		必					
電	工学者のための医学概論	4	30	2						◎	
電	基礎生物科学	4	30	2						必	
電	電気・通信・電子・情報工学実験 A	4	45	1	必	必	必	／	必	必	
電	応用物理学実験 A	4	45	1	／	／	／	必	／	／	

開講 学 科	授 業 科 目	開 講 セ メ ス タ ー	総 授 業 時 間 数	単 位 数	コ ー ス						履修方法 (左記コース欄) ☆印：学科必修科目 必印：コース必修科目 ◎印：選択必修 空欄：選択科目 ／印：コース対象外 (自由聴講科目)
					電 気 工 学	通 信 工 学	電 子 工 学	応 用 物 理 学	情 報 工 学	バ イ オ ・ 医 工 学	
電	電磁気学Ⅱ	5	30	2	◎	◎	◎	◎		◎	選択必修 ◎科目から20単位以上 を修得すること
電	電気回路学Ⅱ	5	30	2	必	◎	必			必	
電	電磁エネルギー変換 A	5	30	2	必						クロス情報プログラムの 学生は、6コースの いずれかに所属し、情 報数学、オートマトン・ 言語理論、デジタル コンピューティング、 アルゴリズムとデータ 構造、情報通信理論、 人工知能、データ科学 と機械学習の数理から 4単位以上を修得する こと
電	電気エネルギー発生工学	5	30	2	必						
電	デジタル信号処理	5	30	2	◎	必	◎		◎	必	
電	通信工学	5	30	2		必					
電	統計力学 A	5	30	2				必			
電	計算機ソフトウェア工学	5	30	2					必		
電	プログラミング演習 B	5	60	2		◎			必		
電	量子力学 B	5	30	2			◎	必			
工	人工知能	5	30	2	◎	◎	◎	◎	必	◎	
電	システムソフトウェア工学	5	30	2					必		
電	情報論理学	5	30	2					◎		
電	電子物性 B	5	30	2	◎		必				
電	生命システム情報学	5	30	2					◎	◎	
電	量子力学演習	5	30	1				◎			
電	半導体デバイス	5	30	2		◎	必			必	
電	電子回路 I	5	30	2	◎	◎	必	◎		必	
電	システム制御工学 A	5	30	2	必	◎	◎		◎	必	
電	数理最適化	5	30	2					◎		
電	基礎磁気工学	5	30	2	◎		◎				
電	基礎生命工学	5	30	2						必	
電	応用物理計測学	5	30	2				必			
工	建築・社会環境工学概論	5・7	30	2							
工	機械工学概論	5・7	30	2							
工	材料理工学概論	5・7	30	2							
工	工学倫理	5・7	15	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	情報社会論	5・7	30	2				／			
電	情報化社会と職業	5・7	30	2				／			
電	電気・通信・電子・情報工学実験 B	5	45	1	必	必	必	／	必	必	
電	応用物理学実験 B	5	45	1	／	／	／	必	／	／	
電	電気電子材料	6	30	2	必		◎				
電	プラズマ理工学	6	30	2	◎		◎				
電	電子回路Ⅱ	6	30	2	◎	◎	◎			◎	
電	熱学・統計力学 B	6	30	2			◎				
電	統計力学 B	6	30	2				◎			
電	基礎システム工学	6	30	2	◎						
電	電磁エネルギー変換 B	6	30	2	◎						

開講 学 科	授 業 科 目	開 講 セ メ ス タ ー	総 授 業 時 間 数	単 位 数	コ ー ス						履修方法 (左記コース欄) ☆印：学科必修科目 必印：コース必修科目 ◎印：選択必修 空欄：選択科目 ／印：コース対象外 (自由聴講科目)	
					電 気 工 学	通 信 工 学	電 子 工 学	応 用 物 理 学	情 報 工 学	バ イ オ ・ 医 工 学		
電	光エレクトロニクス	6	30	2		◎	◎				◎	選択必修 ◎科目から20単位以上 を修得すること
電	集積回路工学	6	30	2		◎	◎					
電	ネットワークコンピューティング	6	30	2		◎				◎		クロス情報プログラムの 学生は、6コースの いずれかに所属し、情 報数学、オートマトン・ 言語理論、デジタル コンピューティング、 アルゴリズムとデータ 構造、情報通信理論、 人工知能、データ科学 と機械学習の数理から 4単位以上を修得する こと
電	通信符号理論	6	30	2		◎						
電	光波・電波伝送工学	6	30	2		必						
電	半導体材料プロセス工学	6	30	2			◎					
電	コンピュータグラフィックス	6	30	2						◎		
電	数値コンピューティング	6	30	2						◎		
電	画像情報処理工学	6	30	2		◎	◎			◎	◎	
電	コンパイラ	6	30	2						◎		
電	データベース	6	30	2						◎		
電	統計力学演習	6	30	1				◎				
電	量子プログラミング	6	30	2				◎				
電	システム制御工学 B	6	30	2	◎							
電	物性物理原論 A	6	30	2				必				
電	物性物理原論 B	6	30	2				必				
電	物性物理学演習 I	6	30	1				◎				
電	物性材料学	6	30	2				◎				
電	知覚感性工学	6	30	2		◎	◎					
電	医用イメージング	6	30	2							◎	
工	データ科学と機械学習の数理	6	30	2	◎		◎	◎	◎	◎		
電	電気・通信・電子・情報工学実験 C	6	90	2	必	必	必	／	必	必		
電	応用物理学実験 C	6	90	2	／	／	／	必	／	／		
電	パワーエレクトロニクス基礎	7	30	2	◎							
電	高電圧エネルギー工学	7	30	2	◎							
電	電気エネルギーシステム工学基礎	7	30	2	◎							
電	電気エネルギー応用工学	7	30	2	◎							
電	ワイヤレス伝送工学	7	30	2		◎						
電	音響工学	7	30	2		◎					◎	
電	パターン認識論	7	30	2		◎			◎	◎		
電	電波法	7	15	1		◎		／				
電	量子力学 C	7	30	2				◎				
電	物性物理原論 C	7	30	2				◎				
電	物性物理学演習 II	7	30	1				◎				
電	結晶解析学	7	30	2				◎				
電	光物理学	7	30	2				◎				
電	低温物理学	7	30	2				◎				
電	生物物理学	7	30	2				◎				
電	集積回路設計演習	7	30	2								

開講学科	授業科目	開講セメスター	総授業時間数	単位数	コース						履修方法 (左記コース欄) ☆印：学科必修科目 必印：コース必修科目 ◎印：選択必修 空欄：選択科目 ／印：コース対象外 (自由聴講科目)
					電気工学	通信工学	電子工学	応用物理学	情報工学	バイオ・医工学	
電	ロボット知能システム	7	30	2							選択必修 ◎科目から20単位以上を修得すること クロス情報プログラムの学生は、6コースのいずれかに所属し、情報数学、オートマトン・言語理論、デジタルコンピューティング、アルゴリズムとデータ構造、情報通信理論、人工知能、データ科学と機械学習の数理から4単位以上を修得すること
電	バーチャルリアリティ学	7	30	2							
工	知的財産権入門	7	15	1	◎		◎				
工	工学英語	7	30	1							
工	医療機器入門	7	30	2						◎	
電	電気・通信・電子・情報工学実験 D	7	90	2	必	必	必	／	必	必	
電	応用物理学実験 D	7	90	2	／	／	／	必	／	／	
電	応用物理学研修	7・8	60	2	／	／	／	必	／	／	
電	電気工学セミナー	7		3	必	／	／	／	／	／	
電	通信工学セミナー	7		3	／	必	／	／	／	／	
電	電子工学セミナー	7		3	／	／	必	／	／	／	
電	応用物理学セミナー	7		3	／	／	／	必	／	／	
電	情報工学セミナー	7		3	／	／	／	／	必	／	
電	バイオ・医工学セミナー	7		3	／	／	／	／	／	必	
電	電気情報物理工学卒業研修	7・8		6	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
電	電気機器設計法	8	30	2				／			
電	電気法規・電気施設管理	8	30	2				／			
電	原子核工学	8	30	2							
電	データ通信工学	8	30	2		◎					
工	国際工学研修 I～IV			…							
工	工学教育院特別講義			…							
電	インターンシップ			1又は2							
電	電気情報物理工学特別講義										

別注：(1) コース対象外科目（／印）以外の他コースの科目は、全て卒業要件単位として認定される。

(2) インターンシップは応用物理学コースでは1単位と認定される場合もある。

(3) 履修方法（卒業に必要な全学教育科目・専門教育科目の修得科目・単位数）

区分	授業科目名		修得方法・必要単位数		
			クロス情報プログラムを履修しない場合	クロス情報プログラムを履修する場合	
必修	全学教育科目	学問論の基礎、解析学 A、統計学、自然科学総合実験、情報とデータの基礎、線形代数学 A、線形代数学 B、解析学 B、常微分方程式論、数理物理学 A、物理学 B、化学 A	左記12科目24単位を修得すること。	左記12科目24単位に加えて実践的機械学習 I（2単位）および機械学習アルゴリズム概論（2単位）の合計14科目28単位を修得すること。	
		外国語	英語 I -A、英語 I -B、英語 II -A、英語 II -B、英語 III、英語 III (e-learning)	左記6科目6単位を修得すること。	左記6科目6単位を修得すること
	専門教育科目	全コース共通 情報処理演習、電磁気学基礎論、電気回路学基礎論、計算機学、応用数学 A、電磁気学基礎演習、電気回路学基礎演習、プログラミング演習 A、工学倫理、電気情報物理学卒業研修	左記10科目20単位を修得すること。	左記10科目20単位を修得すること。	
	(各コース必印科目)		(専門教育科目 授業科目表参照)	(専門教育科目 授業科目表参照)	
選択必修	全学教育科目	外国語	「初修語」群（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）	<ul style="list-style-type: none"> 基礎初修語 I：左記の中から1外国語を選択し、1科目2単位を修得すること。 基礎初修語 II（基礎初修語 I と同じ外国語）の2単位を修得するか、あるいは、工学共通科目「ロジカル・スピーキング」、「工学英語」、「ロジカル・ライティング」(各1単位)から2単位を修得すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎初修語 I：左記の中から1外国語を選択し、1科目2単位を修得すること。 基礎初修語 II（基礎初修語 I と同じ外国語）の2単位を修得するか、あるいは、工学共通科目「ロジカル・スピーキング」、「工学英語」、「ロジカル・ライティング」(各1単位)から2単位を修得すること。
	専門教育科目	工学共通科目	ロジカル・スピーキング、工学英語、ロジカル・ライティング		
	(各コース◎印科目)		20単位以上を修得すること。	20単位以上を修得すること。	
選択	全学教育科目	学問論演習、スポーツ A、体と健康、身体の文化と科学（選択1）	左記科目より、1単位を修得すること。	左記科目より、1単位を修得すること。	
		展開学問論、「現代素養科目」群（「情報とデータの基礎」を除く）、「先端学術科目」群（選択2）	左記科目および群の中から、合計6単位を修得すること。ただし、展開学問論、地球規模課題、カレント・トピックス科目およびフロンティア科目からの2単位を含むこと。		
		データ科学・AI 概論、実践的機械学習 II、情報教育特別講義（AI をめぐる人間と社会の過去・現在・未来）、情報教育特別講義（AI・データ科学研究の現場）、情報教育特別講義（実践的量子ソリューション創出論）、（選択（情報））		左記科目より、2単位を修得すること。	
		展開学問論、「現代素養科目」群（必修、選択（情報）及び自由聴講科目を除く）、「先端学術科目」群（選択2）		左記科目及び群の中から、合計2単位を修得すること。	
		「人文科学」群、「社会科学」群、「学際科目」群の社会・エネルギー・生命・環境・情報、「基礎人文科学」群、「基礎社会科学」群（選択3）	左記の群において、6単位を修得すること。	左記の群において、4単位を修得すること。	
	物理学 C、化学 B、化学 C、生命科学 A、地球物質科学、地球惑星物理学（選択4）	左記科目より、2単位を修得すること。	左記科目より、2単位を修得すること。		
専門教育	(各コース空欄科目)		(専門教育科目 授業科目表参照)	(専門教育科目 授業科目表参照)	

備考：必修科目の全学教育科目英語（6単位）及び基礎初修語 I（2単位）に加えて、基礎初修語 II（2単位）、工学共通科目（「ロジカル・スピーキング」、「工学英語」、「ロジカル・ライティング」（各1単位））の3科目のうち2科目、計12単位の修得を推奨します。

(6) 履修条件Ⅱ（研究室配属のための履修条件）

各コースセミナーは、配属された研究室で履修します。

5セメスター（3年前期）終了時点において、以下の条件を満たしている者は、6セメスターで研究室配属が認められます。

- ① 全学教育科目：36単位以上（ただし、そのうち必修科目について24単位以上）を修得
- ② 専門教育科目：自由聴講科目を除き29単位以上を修得（ただし、情報処理演習、プログラミング演習A、実験A・Bの全てを修得し、かつ、電磁気学基礎論、電磁気学基礎演習、電気回路学基礎論、電気回路学基礎演習、計算機学、応用数学Aのうち6単位以上修得していること）

(7) 履修条件Ⅲ（卒業研修履修条件）

電気情報物理工学卒業研修は、6セメスター（3年後期）終了時点において、以下の条件を満たしている者に認められます。

- ① 全学教育科目：全ての必修科目を含む43単位以上を修得
- ② 専門教育科目：必修科目+選択必修について42単位以上を修得（ただし、情報処理演習、プログラミング演習A、実験A・B・Cの全てを修得し、かつ、電磁気学基礎論、電磁気学基礎演習、電気回路学基礎論、電気回路学基礎演習、計算機学、応用数学Aのうち8単位以上修得していること）

※ただし、留学をした場合には、履修条件の一部が緩和される場合があります。

(8) 早期卒業制度

- (1) 電気情報物理工学卒業研修の先取りの要件
前のセメスターまでの累積 GPA が3.50以上であること。
- (2) 早期卒業適用要件
卒業要件単位をすべて修得し、成績優秀な者（原則として卒業時の累積 GPA が3.00以上である者）に対し、早期卒業を認める。

(9) 情報特別コース

「クロス情報プログラム」の履修に加えて、情報に関連する卒業研究を行った学生に対して、「情報特別コース」の修了を認定します。